



市民の皆様、新年おめでとうございます。

年頭にあたり、市議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、元日に能登半島を震源とする大規模地震が発生し、9月には復興途上の被災地を記録的な豪雨が襲う「二重被災」に見舞われました。また、8月に気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表された際は、多くの方が不安を感じられたことと思います。今後も予測が困難な災害に備え、防災・減災対策の更なる充実・強化が必要不可欠です。

さらに、昨年は「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産登録5周年を迎え、11月に開催された古墳サミットでは、世界三大墳墓の魅力をテーマに百舌鳥・古市古墳群の価値と魅力が広く発信されました。引き続き、本年4月から開催される大阪・関西万博をはじめ、あらゆる機会を通じて堺の類いまれな歴史や文化の魅力を国内外に発信し、堺の成長・発展につなげていくことが重要と考えています。

本年も、長引く物価高騰や人口減少・高齢化に加え、激甚化・頻発化する自然災害など、本市を取り巻く環境がより厳しさを増す中、めまぐるしく変化する社会情勢を的確に捉えながら、将来にわたって持続可能な都市経営を推進することが求められています。

堺市議会におきましては、昨年から導入しました電子採決や初の試みとなった区役所での議会報告会など、市民に身近で「開かれた議会」と「円滑な議会運営」に向けて取組を進めてまいりました。

今後も、更なる議会改革を推進し、市民の皆様が身近に感じられる議会運営に全力を尽くしてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、ご健勝で幸多き一年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

堺市議会議長 田淵 和夫

